

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2022年 1月 11日

事業所名:Growing つばめ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員に応じたスペースは確保している。	(はい11、どちらともいえない1、いいえ0、わからない1、未回答1)	現状を維持する。
	2 職員の適切な配置	利用者2~3人につきスタッフ1名の配置	(はい7、どちらともいえない2、いいえ0、わからない4、未回答1)	現状を維持する。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	環境の整備に努めている。	(はい7、どちらともいえない1、いいえ0、わからない5、未回答2)	今後も必要に応じて環境調整を図っていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清掃、消毒を実地している。	(はい12、どちらともいえない0、いいえ0、わからない1、未回答1)	今後も現状維持する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画			
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保			
適切な支援の	1 子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	モニタリング時などに保護者面談を実地し、職員の間で共有、協議をし支援計画の充実に努めている。	(はい12、どちらともいえない0、いいえ0、わからない1、未回答1)	主にモニタリングごとに支援を計画している。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別と集団の指導を状況に応じて支援計画の見直しを進めている。	(はい12、どちらともいえない0、いいえ0、わからない1、未回答1)	個々の要望を踏まえて計画、アセスメントし療育に努めている。

提供	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	領域別に必要な項目を設定し、定期的に評価している。	(はい10、どちらともいえない0、いいえ0、わからない3、未回答1)	現状維持する。
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員会議や打ち合わせで支援細目しなどをかくにんしている。 スタッフは固定している。		現状維持する。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	月一回の職員会議で、支援の在り方、必要に応じて研修を重ねている。		現状維持する。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	祝日では調理講座、長期休暇給食などを導入し、状況に応じた支援を行う。		現状維持する。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節感を感じる行事を導入	(はい11、どちらともいえない0、いいえ0、わからない3、未回答1)	現状維持する。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底			
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化			
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施			
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し			

関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画			
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有			
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進			
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供		(はい2、どちらともいえない1、いいえ3、わからない7、未回答1)	コロナ解除時一度だけ参加する。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営			
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	重要事項説明書記載、機会をみて理念などとともに説明している。	(はい10、どちらともいえない2、いいえ0、わからない1、未回答1)	工夫をして理解を得ていく努力をする。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談での丁寧に説明を心掛けている。	(はい9、どちらともいえない3、いいえ0、わからない1、未回答1)	今後も実践していく。

保護者への説明責任・連携支援

3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	集団での研修はないですが、送迎時面談時を通じて療育内容や、保護者の理解を深められるよう努力していく。	(はい6、どちらともいえない0、いいえ0、わからない7、未回答1)	工夫をして理解を得ていく努力をする。
4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳で、共通理解を深めている。	(はい10、どちらともいえない0、いいえ0、わからない3、未回答1)	重要事項は、送迎時徹底的するとともに連携がうまくいくように努めてる。
5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	モニタリング時だけではなく、お迎え時の際に必要な応じて相談を実施していく。	(はい10、どちらともいえない0、いいえ0、わからない4、未回答1)	今後も保護者からの相談に対応していく。
6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会はない。	(はい7、どちらともいえない3、いいえ0、わからない3、未回答1)	保護者会はない。
7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応		(はい8、どちらともいえない1、いいえ0、わからない2、未回答1)	
8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	視覚支援を行うとともにコミュニケーションなどで配慮する。	(はい10、どちらともいえない0、いいえ0、わからない3、未回答1)	今後とも工夫して配慮をしていく。
9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎日の連絡帳で様々な連絡をとるようにしていく。	(はい8、どちらともいえない1、いいえ0、わからない4、未回答1)	継続をする。
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	職員には、守秘義務を徹底するように指導している。	(はい10、どちらともいえない1、いいえ0、わからない2、未回答1)	継続をする。
1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底		(はい7、どちらともいえない0、いいえ0、わからない6、未回答1)	
2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施		(はい5、どちらともいえない0、いいえ0、わからない8、未回答1)	

非常時等の対応	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応			
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載			
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応			
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底			